



Let's go swimming! (Part 1) 泳ぎに行こう!

Hello again everyone! Today I want to tell you a story from my past. A long time ago when I was teenager, my friends and I often used to go swimming in the sea. We really enjoyed it. After I graduated secondary school* my friends and I were really happy and we went to the sea to celebrate. We all swam and had a beach barbecue. That day I decided I would swim in the sea every day for one year.

What a crazy challenge! At first it was easy; The sea was calm and the weather warm. I was totally free and able to swim every day because it was the summer holiday. I would mark each day off on a calendar after I had swum. It was like I was making a chain. That felt good.

Every time I marked it on my calendar it felt like I was adding a link to a chain, and each link made the chain stronger.

But then, in the autumn, I started college**. I had to go to lessons and a lot of homework I had to do. My mother said to me 'You have to do your homework before you go out for a swim'. The days started getting shorter and the weather colder. I was running out of time in the day to swim. One day, I realized that I wouldn't be able to swim. I thought 'It will be late and dark before I can get home' and 'Oh no! I am going to fail my challenge'. I went home crestfallen. My grandfather looked at my sad face, laughed and said 'why don't you go swimming now?' I had not even thought about swimming at night! 'Why not?' I thought. The water is shallow and safe, there are no strong currents or rocks and there are lights along the seafront. I could swim no problem! So right then, I decided 'I will do it!'.

It was darker than I thought it would be and very cold but I went for a swim! Eventually, I came to like swimming at night. I started to swim every day at the same time: 10pm. I started with a few minutes each day and slowly built up to a 20-minute swim. [To be continued]

Did I finish my challenge? Find out next time.

* (Secondary school in the U.K. is similar to junior high school in Japan. It is for ages 11-16)

** (College is similar to high school in Japan. It is for ages 16-18)

こんにちは皆さん。今回は私の昔話を語りたいと思います。私は10代のとき、友達とよく海に泳ぎに行きました。私たちは泳ぐことをとても楽しみました。secondary school*を卒業した後、私たちは幸せいっぱい、お祝いするために海へ行きました。みんなで泳いだり、遊んだり、バーベキューをしたりしました。その日、私は1年間毎日海で泳ぐことに決めました。

なんてクレージーなチャレンジでしょう！最初は簡単でした。海はのどかで気温は暖かったです。夏休みなので、私はとても自由で、毎日泳げました。毎日、泳いだ後で、カレンダーにマークをしました。それは、チェーンを作っているようで、気持ちよかったです。カレンダーにマークを付ける度に、チェーンにリンクを追加して、それぞれのリンクがチェーンを強くしているようにも感じました。

ただ、秋になって、college**に入学しました。授業へ行って、たくさんの宿題をしなければなりません。母は「泳ぎに行く前に、宿題をやりなさい」と言いました。日がだんだん短くなって、寒くなりました。一日に泳ぐ時間は少なくなりました。ある日、「今日は泳げないだろう」と気づきました。私が「家に帰るころには、遅くて暗いだろう」と「やばい、このチャレンジを失敗に終わるかもしれない」と思いました。がっかりして家に帰りました。おじいさんは私の落ち込んでいる顔を一回見て、笑って、すぐ「今、泳ぎに行かないか」と言いました。夜の水泳なんて一切考えたことがありませんでした。「なにがいけない？」と思いました。水は浅く、安全だし、強い流れや大きい岩がないし、そこの海岸沿いには灯があります。泳げる！そのとき「やるぜ」と決めました。

思ったより暗く、寒かったですが、泳ぎに行きました！しばらくすると、夜の水泳が好きになりました。毎日、午後10時に泳ぎました。毎日数分から始めて、それから少しずつ増えて、やっと20分泳げるようになりました。[つづく]

チャレンジをやり遂げることができたでしょうか。続きはまた今度。

* (イギリスのsecondary school (中等学校) は日本の中学校と似ている学校です。11-16歳の年齢)

** (イギリスのcollegeは日本の高校と似ている場所です。16-18歳の年齢)

短歌・俳句の世界

「短歌の会」と「御代田風の道俳句会」、「五月俳句会」から寄せられた代表作品です。

短歌

浅間山晴れて風なく雪まだら
麓の里はどんと焼き日和
正月の追ひ羽根に似て花びらの
凜と咲きあるアルストロメリア
娘とふたり和だんす開けて暗黙に
触れずに閉めぬ喪服の棚を

大井 藤子

桜井みさを

大池 講子

俳句

当期雑誌二字

【御代田風の道俳句会】

雪解川傾斜の大地佐久平
満天に星鏤めて冴返る
春一番ウイルスと花粉浚い往け
樹や石の輪郭とがり冴返る
大北風や浅間山麓雪煙り
俳句道場【五月俳句会】
春炬燵猫を誘ひ丸くなる
啓蟄や脹ら雀も庭を掘る
春眠や鏡の中の寝惚け貌
受験子の深夜の灯り絵馬の影
抜かれても系根一本春繋ぐ

松浦 靖子

土屋 春雄

足立 淳

沢田 勝彦

荒木久美子

金沢 安子

地域おこし協力隊御代田体験記

尾関Report

移住パンフレット リニューアル

2018年4月に発行した、移住パンフレット「御代田町で移住相談ができる図鑑。」をリニューアルしました。公民館活動やスポーツチーム、「区」の紹介ページが増え、移住者紹介や町の写真、デザインも一部リニューアルしております。もう移住しているけど、まだ町のことをあまり知らない...という方もぜひご覧ください。



Profile
お び き み さ
尾 関 充 紗
【出身】
愛知県名古屋

御代田町地域おこし協力隊
二次元コード



前号でお知らせしていた「御代田町地域おこし協力隊活動報告会 ～ミヨタ博～」は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、延期となりました。開催日は後日改めてお知らせ致します。ご理解頂きますよう、お願い致します。

Man Watching

#239

公民館ヨガ教室で
お待ちしております!



- Q1 趣味は？
アロマクラフト、ガーデニング
- Q2 おすすめのスポットは？
龍神の社公園
- Q3 理想の人は？
女性や赤ちゃんの悩みに寄り添えるセラピスト
- Q4 夢・目標は？
全ての女性を笑顔に！
妊娠、出産、育児、更年期・・・と女性のライフステージによる悩みはつきません。そんな女性をサポートしていきたいです。
- Q5 まちづくりに一言
どこへ相談すればよいかわからない・・・と1人で悩みを抱えている人たちに気軽に相談できる場所を！町がつかなく役目を担うことで救われる方がたくさんいると思います。